

テーマA

1 必須提案事業

(1) 災害発生時を想定した防災訓練での活用

南海トラフ地震の発生を想定した防災訓練において、孤立集落へ医療品等を想定した荷物の搬送を実施。また、スピーカーを搭載したドローンにより津波浸水想定区域に対して多重言語による避難広報を実施するとともに、被害状況の確認を実施

(2) 大規模災害等発生時における被災者の捜索等

大規模災害等が発生した際に、カメラや赤外線カメラによる被害状況の把握や行方不明者の捜索、被災現場周辺の道路の幅員や倒壊建物等の規模の計測等を実施

2 事業費

9, 500千円以内（税込）

※ 1事業者を採択予定

※ 飛行に必要な許可・承認申請手続き、事業実施地域への移動等、事業実施にかかる経費をすべて含む。

別紙 A

3 必須提案事業で想定される成果物等

(1) 災害発生時を想定した防災訓練での活用

業 務	災害発生時を想定した防災訓練での活用	
業務概要	① 防災訓練での医療品等を想定した荷物の孤立集落への搬送 ② 津波避難を想定した訓練での避難広報及び被害状況の確認	
想定地域	上記① 兵庫県・播磨広域合同防災訓練実施地域 ^{※1} のうち 1箇所 ※1 たつの市、宍粟市、太子町 上記②-1 津波一斉避難訓練実施地域 ^{※2} のうち1市町 ※2 南海トラフ地震津波浸水想定区域（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市：14市1町） 上記②-2 神戸市中央区	
実施方法	上記「業務概要」及び下記「想定される納品成果」のとおり	
実施時期	上記① 令和元年9月1日 兵庫県・播磨広域合同防災訓練 上記②-1 令和元年11月5日 津波一斉避難訓練 上記②-2 令和2年1月17日 ひょうご安全の日防災訓練	
想定される 納品成果	内容	ファイル形式
	上記① ・医療品等を想定した荷物（重量500g程度）の搬送の実施 上記② ・搭載スピーカーから広範囲な避難広報（多重言語）の実施 及び ・避難広報実施エリアの状況の動画撮影（動画はリアルタイムで確認できるとなお良い）	動画は録画の場合、mp4

別紙A

(2) 大規模災害等発生時における被災者の捜索等

業 務	大規模災害等発生時における被災者の捜索等	
業務概要	<p>① 大規模災害（自然災害、大規模事故）等発生時における被害状況の把握（県警に同行）</p> <p>② 山岳遭難発生時における行方不明者の捜索（県警に同行）</p> <p>③ ①、②の際に道路の幅員・被災場所の面積等を計測</p> <p>④ ①～③を想定した訓練への参加 （想定している活用方法の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水等の災害発生を想定した地域の状況を空撮により把握 ・山岳遭難者や建物内に取り残された人物に見立てた職員の居場所を各種カメラを用いて捜索 <p>※①～④あわせて最大10回。</p>	
想定地域	<p>①～③ 兵庫県全域</p> <p>④ 7月下旬 佐用町（河川周辺での訓練を予定） 9月上旬 豊岡市、11月上旬 淡路市</p>	
計測方法	<p>写真（通常、赤外線カメラ、温感センサー等）</p> <p>動画※（通常、赤外線カメラ、温感センサー等）</p> <p>※原則として、動画はリアルタイムで確認できるようにすること</p>	
計測時期	<p>①～③ 随時（災害等発生時）</p> <p>④ 7月下旬、9月上旬、11月上旬</p>	
想定される 納品成果	データの種類	ファイル形式
	<p>写真（①、②ともに）</p> <p>① 撮影範囲の状況が分かる写真 （緯度経度、nメートルメッシュ※の表示があるもの） ※nは5～100の範囲で、都度県警が指示する。</p> <p>② デジタルオルソ （地図情報レベル500）</p>	<p>① JPEG 又は PDF</p> <p>② Geotiff 又は JPEG+ワールドファイル</p>
	動画撮影	MP4